



データリーマン アロリーマン

2015年1月

松井邦憲
matsui-kunitoshi

背景

現代は格差社会であります。団塊世代後期に生まれた私は一億総中流社会を経験しました。しかし、気鋭のトマ・ピケティ教授は中間層が拡大した時代は短いと歴史をふりかえています。所得格差、資産格差、教育格差そして「情報格差」が連鎖しているのが現状です。中間層が拡大し、豊かになる事で人びとに平等感が行き渡ります。その結果、生産・所得・消費が拡大して豊かな社会を形成します。中間層を拡大する選択肢は目の前にあります。それはインターネットの活用です。そしてモバイル・デバイスの普及とその活用方法の啓蒙活動によって可能になります。

現状分析

ここでデタリーマンとアロリーマンの説明をします。デタリーマンはデジタル・サラリーマンの略語でアロリーマンはアナログ・サラリーマンの略語です。「日本の社会を担うサラリーマンの平均年収を如何に上げるのか？」がこのコラムの主題です。**1990**年後半から爆発的に普及したパソコン・インターネット、**2010**年代からのスマホ・タブレットの普及、そして現在のクラウドコンピューティングはサラリーマンの仕事を大きく変えています。つまり、パソコン・スマホ・タブレットを使いこなすスキルを身に付ける事により、仕事を効果的にかつ効率的にこなす事が必要になっているのが現状です。

パソコン

オフィスで使われるパソコンにインストールされているソフト・アプリケーションはマイクロソフト社のものが一般的です。文書作成にはワード、演算機能を持った表計算のエクセル、プレゼンテーション作成にはパワーポイントが多く使われます。中でも、便利なのはエクセルです。このソフトを使いこなせば、飛躍的に仕事がはかどります。会社のサーバーからダウンロードしたデータの分析も関数、ピボット等を使用する事により簡単に出来ます。データベースに特化したアクセスもエクセルを使いこなす事が出来れば簡単に使えます。パソコンはデータを簡単に処理する事が出来ます。

インターネット

インターネットの定義は糸井重里氏のものが分かりやすいです。 **リンク+フラット+シェア** で表します。リンクはつながり、様々なサイトがつながります。フラットは対等な関係を意味します。シェアは共有、情報を共有します。インターネットは通信機能を持ちます。個人間の情報のやりとり、つまりメールです。個人対多数の情報のやりとりも可能です。電話よりはるかに安価で、かつ世界レベルでのやりとりを可能にし、解釈の違いを減らし、確証も残ります。最近では自動翻訳機能も利用出来ます。また、検索機能は世界レベルで様々な情報を得て、共有する事を可能にしました。

モバイル

インターネットは時間と空間を超越します。デスクトップ・パソコンが主流の時代はその使用において制約がありました。しかし、ノートブック・パソコンから持ち運びが可能になりました。今では スマホ・タブレットでより一層楽に持ち運びができて、電源が確保出来れば どこでも

、仕事の効率化が進み、モバイル・デバイスを利用して個人で、更にチームで効率的に仕事が出来ます。

スマホ

スマートフォンの普及は**2010**年以降拡大しています。現在は**5,000**万台を越しました。また、ガラケーと称されるフィーチャーフォンもビジネスマン・ウーマンには必需品です。スマホはメール・検索で、ガラケーは電話で使い分ける訳です。つまり、コミュニケーションを使い分けている訳です。スマホのもうひとつの特徴は多種にわたるアプリです。**GPS**機能を駆使したナビゲーション、多言語に対応した翻訳機能、文書・表計算・プレゼンテーション作成機能、カメラ機能そして録音機能。つまり、携帯出来て簡単なパソコンです。スマホを使いこなす事により仕事は格段とはかどります。

ソーシャルメディア

インターネットの黎明期では企業が或いは個人がホームページを持つ事がステータスでした。しかし、現在はソーシャルメディアが普及する事により、誰でも簡単にしかも原則無料でホームページを持つ事が可能になりました。代表的なのは**facebook**です。更に**twitter**、**Google+**、**YouTube**等が利用されています。これらのメディアは個人が情報を発信する事を可能にし、ネットワークを形成する事が出来て、双方向のコミュニケーションをも可能にしています。更にメディア側は個人の情報、趣向を把握する事により様々な提案を随時致します。

パソコンとネットリテラシー

さて、現在のサラリーマン・ウーマンに必要なリテラシーについての説明をします。**第一に必要なのはパソコンを活用した演算能力です。**理系の仕事以外では四則演算を如何に効率よく計算する能力です。販売を数値化する事により現状を客観的に把握し、ゴールも数値化する事により無駄のないビジネスを展開する事が可能になります。**第二に必要なのはネットワークをつくる能力です。**つまり、人脈を如何に作れるかです。ビジネスの基本は顧客作りであるのは基本です。むしろ、この能力が優先するかもしれません。しかし、ネットを活用する事により顧客を作るつまり集客は可能です。

二つのリテラシーの判定基準

具体的にこの二つのリテラシーの判定基準を説明します。まず、**演算能力ですがエクセルでVLOOKUP関数或いはピボットで名寄せ、マッチングが出来るかどうか**が基準になります。この操作が出来る事によりデータベースを作る事が可能になります。次に、ネットワークを作る能力です。インターネットの特徴のひとつがリンクで、この機能を活かして検索を上手く使い、様々なサイトを閲覧する事になります。サイトを運営しているのは個人または組織です。つまり、インターネットは交流の場、プラットホームであります。ここでは、**複数の単語を用いて検索出来る事を基準とします。*(and/or)**

二つの基準の組合せ

演算能力、ネットワーク構築能力のある・なしの組合せで4つの区分が出来ます。

データリー A

両方とも出来る

両方とも出来ない

デタリー B

演算は出来るがネットは出来ない

アロリー A

演算は出来ないがネットは出来る

アロリー B

両方とも出来ない

以下に4つの区分についての説明をしますが、そのおのこの区分は単にパソコンとネットのリテラシーの評価である事を確認させていただきます。仕事の総合評価ではありません！

デタリー A

<プロフィール>

仕事が早く、チームを引っ張れる能力があると判断されます。リーダー向き。

<観察事項>

情報量が多いはずであります。更に、その情報を処理出来る能力を持っているはず。かつ、ネットワークを構築出来るので、様々な他者の事例を学ぶ事が出来るので選択肢が増えるはず。です。

<次なるステップ>

判断する基準、即ち規範を持つ事と規範の前の理念をはっきりさせる事により、決断力が備わるはず！

デタリー B

<プロフィール>

演算能力があるのでアナリスト等の専門職向き。

<観察事項>

ネットワークを構築が苦手の場合は裏方に向いているかもしれない。但し、人との関係構築は経験のあるなしも影響します。従って、リーダーの立場を経験するのも選択肢のひとつです。

<次なるステップ>

数字に強い事は物事の客観視につながるはず。まず、自己分析をし、信頼できる人に他己評価をお願いする事が出来ます！

アロリー A

<プロフィール>

営業担当に多いタイプです！ビジネスの基本は人間関係の構築に他ならない訳です。パソコン、モバイルをそのために活用している人たちです！

<観察事項>

営業の数字管理は実は算盤 電卓で出来るはず。また、顧客の管理システムは大概の企業

日本企業は日本の文化や価値観、考え方や行動様式が根付いている。また、海外企業は日本の文化や価値観を尊重して導入がすすんでいます。スマホ等でのメール等の活用が多いはず。また、いわゆるガラケーは彼らにとって必需品なはず。

<次なるステップ>

演算能力を増す事はビジネスにおいて説得力を増します。

アロリー B

<プロフィール>

実はこのタイプは私ども団塊世代に多いです。パソコン、ネットが普及し始めたのは**50代以降**です。つまり、その時点で管理職であり難しい計算等は部下に押し付けた訳です。

<観察事項>

管理職とは部下の管理・評価で、育成と考えている人たちは少ないようです。

それは、自分達もその様に扱われたからです。しかし、現在の若い人たちは上司が出来ない事を命じられるのに疑問を持つのが普通です！

<次なるステップ>

先ずは習い始める事です！

まとめ

IT時代が進む中でサラリーマンの働きかたが変わってくると共に、求められる成果が変わって来ています。それは、**IT**で出来ない事であり、考える力、企画し実行する力と考えられます。今まで、人の力でしてきた事をパソコン、モバイルで実行し余った時間を考える時間に費やす必要があります。従って、私が提言しました**パソコンを活用した演算能力**と**或いはモバイルを活用したネットワークの構築能力**が、仕事の効率を上げて、その結果企画、考える時間を設ける事が出来ると思います。更に、**クラウド**を活用し、チーム全体の効率を上げる時代を向かえる事になります。

あとがき

久しぶりにコラムを書きました。「犬・猫・猿・鳥リーマン」に続きサラリーマンをテーマにまとめました。現役の皆様への応援のつもりです。また、昨今の企業の動向では英語のコミュニケーション能力の開発も注目されていますが、最新のスマホの翻訳アプリは格段と進化しております。**先ずはスマホ・タブレットの性能を確認する事をお勧め致します。**

最後までのご高覧ありがとうございます！

